

第1回 伊達市の環境を考える市民会議を開催しました

平成 23 年 3 月の策定を目指して現在検討中の「伊達市環境基本計画」に、市民や事業者のみなさんの意識や意向を反映させることを目的として「伊達市の環境を考える市民会議」を8月5日（水）に開催しました。

この会議では、将来の環境像や市の施策、市民や事業者の役割、具体的な取組みなどについて検討します。実際に行動するみなさんの視点から意見や提案を募ることにより、みなさんが生活する伊達市の実態に即した実現性の高い施策や取組みを立案していきます。

会議は、平成 22 年の秋までに全 8 回開催する予定です。第 1. 回となる今回の会議では、市の環境の特徴や課題、各自の好きな環境、望む環境等について意見交換が行われました。



市民会議委員の構成

この市民会議は幅広く市民、事業者のみなさんの意見を反映させるため、関係団体、市民環境団体、事業者、公募委員、といった様々な分野からの 25 名により構成されています。

座長は福島大学准教授の後藤氏、副座長は福島県地球温暖化防止活動推進員の菅野氏と決まりました。

市民会議で検討予定の項目

- (1) 目指す環境像
－方針や環境目標について
- (2) 行政施策
－環境保全に関する具体的施策について
- (3) 市民、事業者の役割や取組み
－果たすべき役割、取組みについて
- (4) リーディングプロジェクト
－先導的な重点プロジェクト、役割分担について
- (5) エリア別環境方針
－地域ごとに求められる環境行動について
- (6) 進行管理、推進方法
－市民、事業者、行政の協働推進について
- (7) 環境基本計画策定に関する事項

第1回 伊達市環境基本計画策定庁内調整会議を行いました

環境に関連する施策は行政分野の全般にわたるため、環境基本計画の策定を総合的に推進するためには市としても所属を横断して意見交換をする必要があります。

そこで「伊達市環境基本計画策定庁内調整会議」を組織し、7月 28 日（火）に第 1 回会議を開催しました。今後も、定期的に会議を開催し、市全体として長期的・計画的に推進できる施策を検討していきます。



「伊達市の環境を考える子どもワークショップ」を開催しました

将来の伊達市の主役である子どもたちの意見を検討中の「伊達市環境基本計画」に取り入れるために「伊達市の環境を考える子どもワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、ごみ処理場や霊山こどもの村など市内にある環境に関連する施設等を見学すると共に子ども同士での意見交換を3回に渡り行いました。

第1回ワークショップ ～市内施設見学～

伊達地方衛生処理組合、県北浄化センター（アクアクリンあぶくま）、霊山こどもの村、阿武隈川を廻り、市内にある施設の役割や自然の大切さを学習しました。



ごみは分別することで資源になるんだね。



微生物のおかげで水がきれいになっていました！



霊山の木で記念のバッジを作ったよ！

第2回ワークショップ ～意見交換会～ ①身近な生き物について ②地域の良いところ

子どもたちの住む地域別にグループを構成して、周りにはいる生き物や地域の良いところをあげてもらいました。



タヌキやイタチも見ることがあるよ！



春には桜を見に沢山の人がきます。



毎年盛大につつこ引き祭りが行われます。

第3回ワークショップ ～意見交換会～ ①地域の気になるところ ②もしも市長になったら

第2回ワークショップと同じ地域別グループで地域の気になるところをあげてもらいました。また、もしも市長になったらどのような取組を行うだろうか考えてもらいました。子どもたちの自由な発想で、既成概念にとらわれない貴重な意見が幾つも出ました。



どんな対策があるだろう？



デコボコの少ない歩きやすい道を作ります！



町おこしをして、自然が豊かで元気な町をつくります！